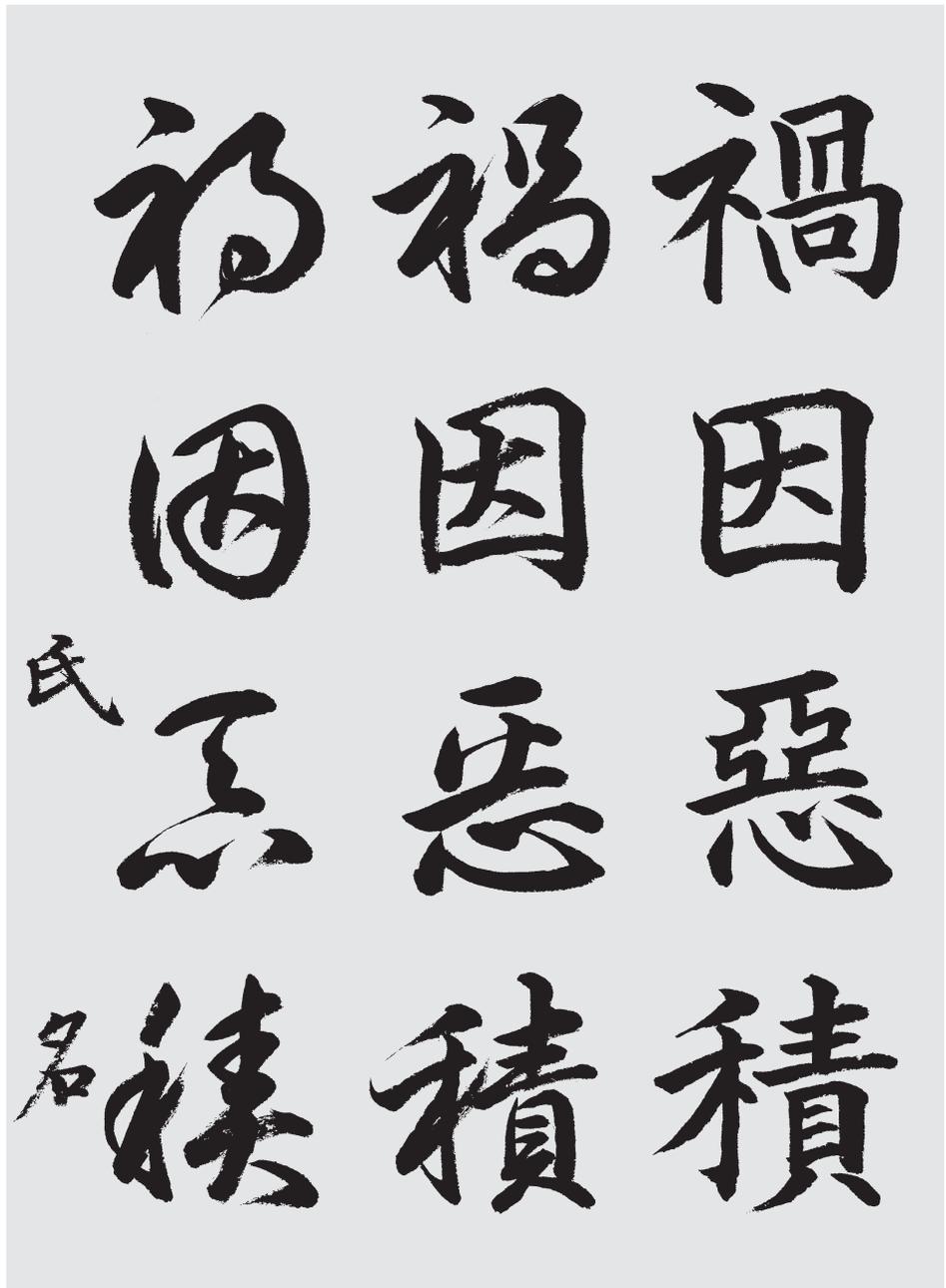


三体千字文を書く(57)

締切り 九月二十二日(必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部Ⅱ半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六(一九八一)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。原点に戻って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

禍(か) 因(いん) 惡(あく) 積(せき)

福(ふく) 縁(えん) 善(ぜん) 慶(けい)

禍いは悪行を重ねることによっておこり、

福は善行や慶びによってもたらされる。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

〔解説〕

〔読み〕真の勇氣は 目撃者のいない 場合に示される

真 勇 氣 撃 手 者 場 合 示

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

真の勇氣は
目撃者のいない
場合に示される

お 尾 郷 翠 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

	愛	婦
	の	人
	源	の
	泉	胸
リ	が	中
ッ	あ	に
ト	る	は
ン		

ふる た ずい えん 古 田 瑞 苑 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ◆10月課題予告(楷書)
会って直談するのが
悪感情を一掃する
最上の方法だ
- ▼教範・書範||行草または草書
- ▼師範||行書

★真の勇氣は…(書体||行書)
ラ・ロシュユフコー(一六三三〜一六八三)
フランスの政治家・思想家
人間を痛烈に批判した名著「箴言
(しんげん)」で有名なラ・ロシュユフ
コーの言葉です。
人間の行動は、本人の意志よりも人
の目に左右されてしまいます。した
がって、人から見られることが考えら
れない状況での行動こそ真の行動であ
ると言っています。

◆10月課題予告(行書)
人生には
友情よりも
気高い快樂はない

★婦人の…(書体||楷書)
リットン(一八〇三〜一八七三)
イギリスの小説家・政治家
婦人の注ぐ愛情は、まさに泉のごと
く尽きることがないとリットンは言っ
ています。これは彼が女性の愛のあり
かたをたたえた言葉です。
また、十九世紀のアメリカの小説家
であるアービングは「女性の一生は愛
情の歴史である」と言葉を残していま
す。

締切り 9月22日(必着)

空高くかかる白雲にも秋の風情が
感じられるようになってまいり
ました。いよいよ、ぶどう狩りや
梨もぎが楽しみな時季ですね。
山の上のぶどう園に予約を入れて
ありますので、皆様と一緒に。

空高くかかる白雲にも秋の風情が
感じられるようになってまいり
ました。いよいよ、ぶどう狩りや
梨もぎが楽しみな時季ですね。
山の上のぶどう園に予約を入れて
ありますので、皆様と一緒に。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横書き課題

おか じま けい せん 書
岡 嶋 桂 川 書

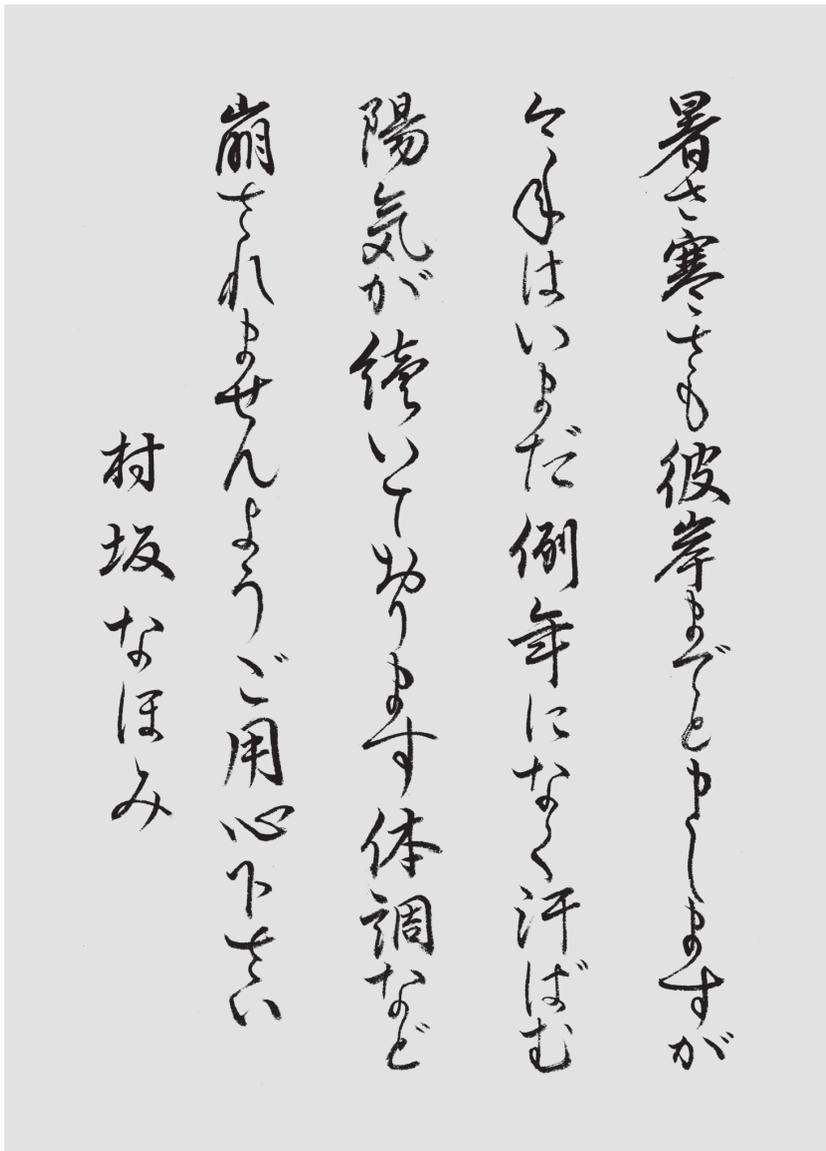
雷は「神鳴り」に通じ、昔の人は
おそるべき神の怒りと考えた。

石川県七尾市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

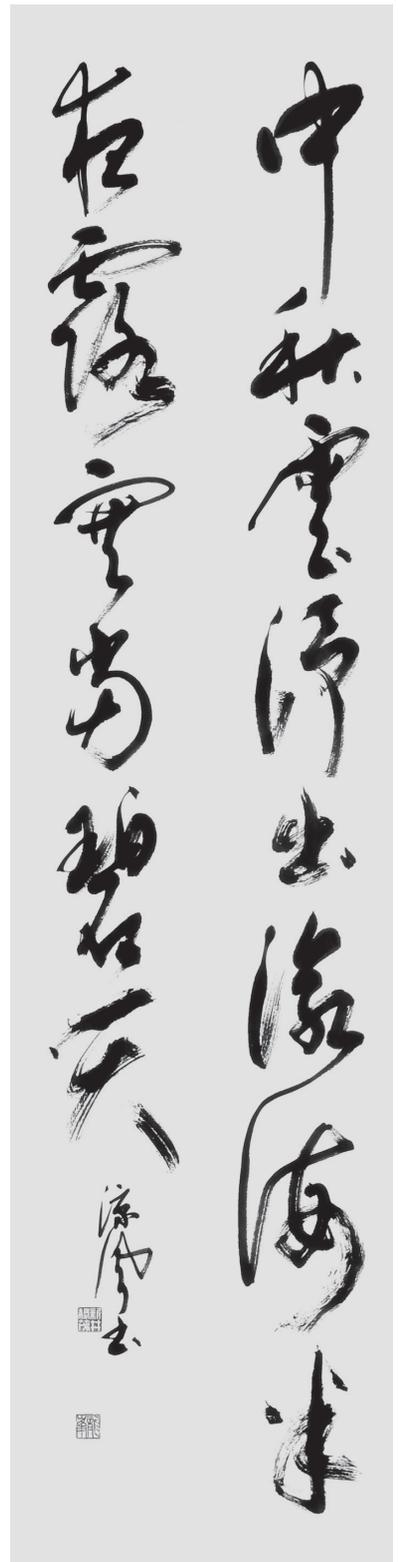
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

書 香 梅 藤 伊



締切り 九月二十二日 (必着) 半切 (一三六 cm × 三五 cm)

新井龍峰書

中秋雲淨出滄海

半夜露寒當碧天

許渾

〔大意〕 中秋の月は大海から上って空は晴れて雲なく、夜半には冷気を帯びた露がみちていっそう晴れて見える。初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

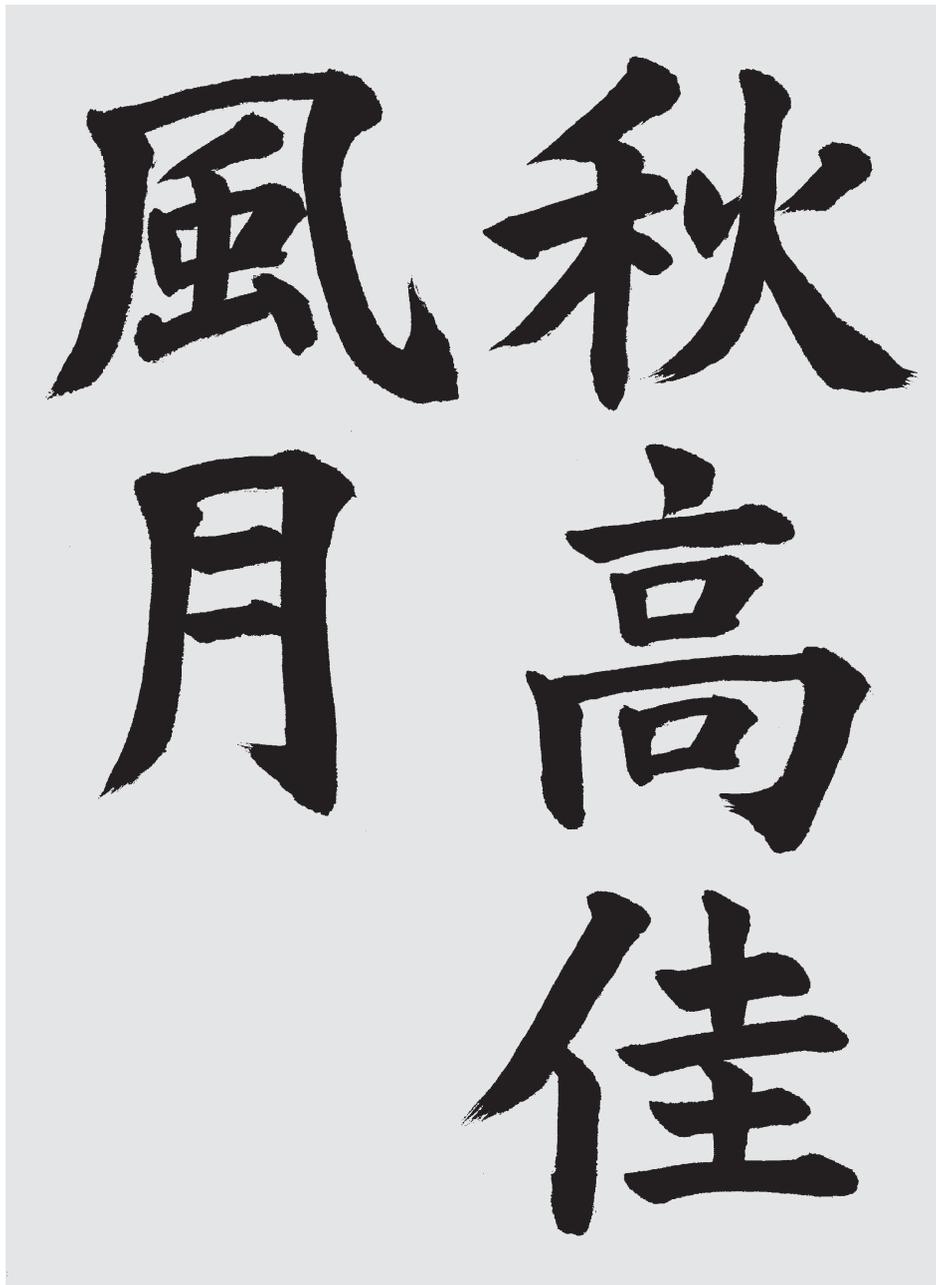
〔条幅解説〕
古くより筆の持ち方について解説された書物が多く出ていますが、おおよそ単鉤法と双鉤法に分けることができます。初・中級者の方々は単鉤法で運筆されていると思いますが、単鉤法ですと手首が使い易いために、手先に依存した運筆になってしまいます。それに比べると双鉤法は手首に若干の制約があるため、筆が立ち運腕も大きくなると考えられます。(次回に続く)

暑さ寒さも彼岸までと申しますが
今年はいまだ 例年になく汗ばむ
陽気が続いております 体調など
崩されませんようご用心下さい
(ご自分の氏名)
・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(楷書)



秋高佳風月

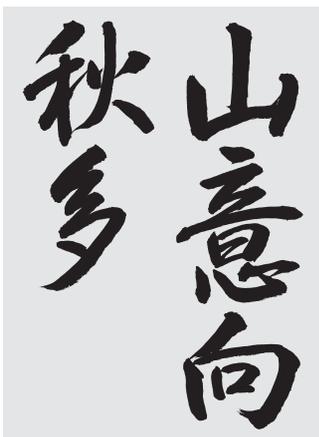
〔大意〕秋はふけゆくままに吹く風も照る月もますますよくなった。

清水翠芳書

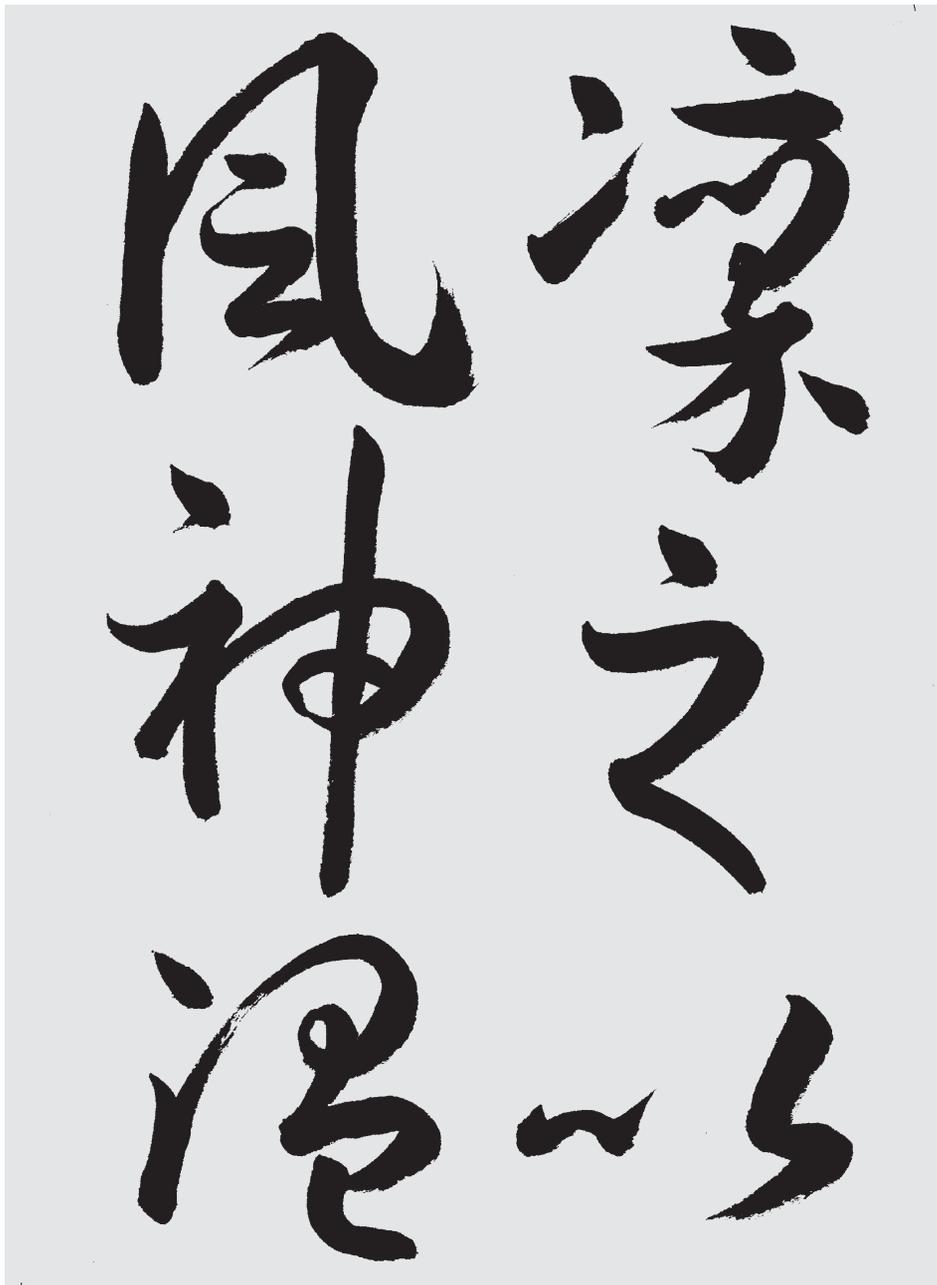
〔解説〕



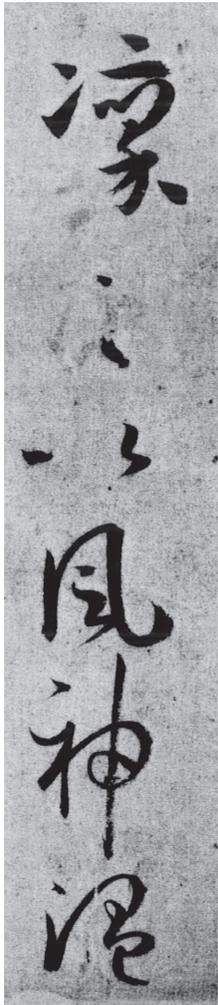
◆10月課題予告(行書)



準初段から師範まで



須田 一葉 臨



凜
之
以
風
神
温

〔出典〕書譜(六八七)

〔筆者〕孫過庭(六四八?~七〇三?)

〔読み〕(然る後)之を凜にするに風

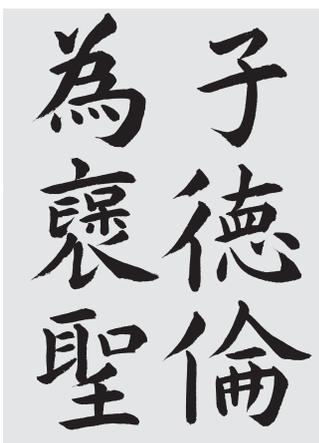
神を以てし、(之を)温にするに

〔解説〕



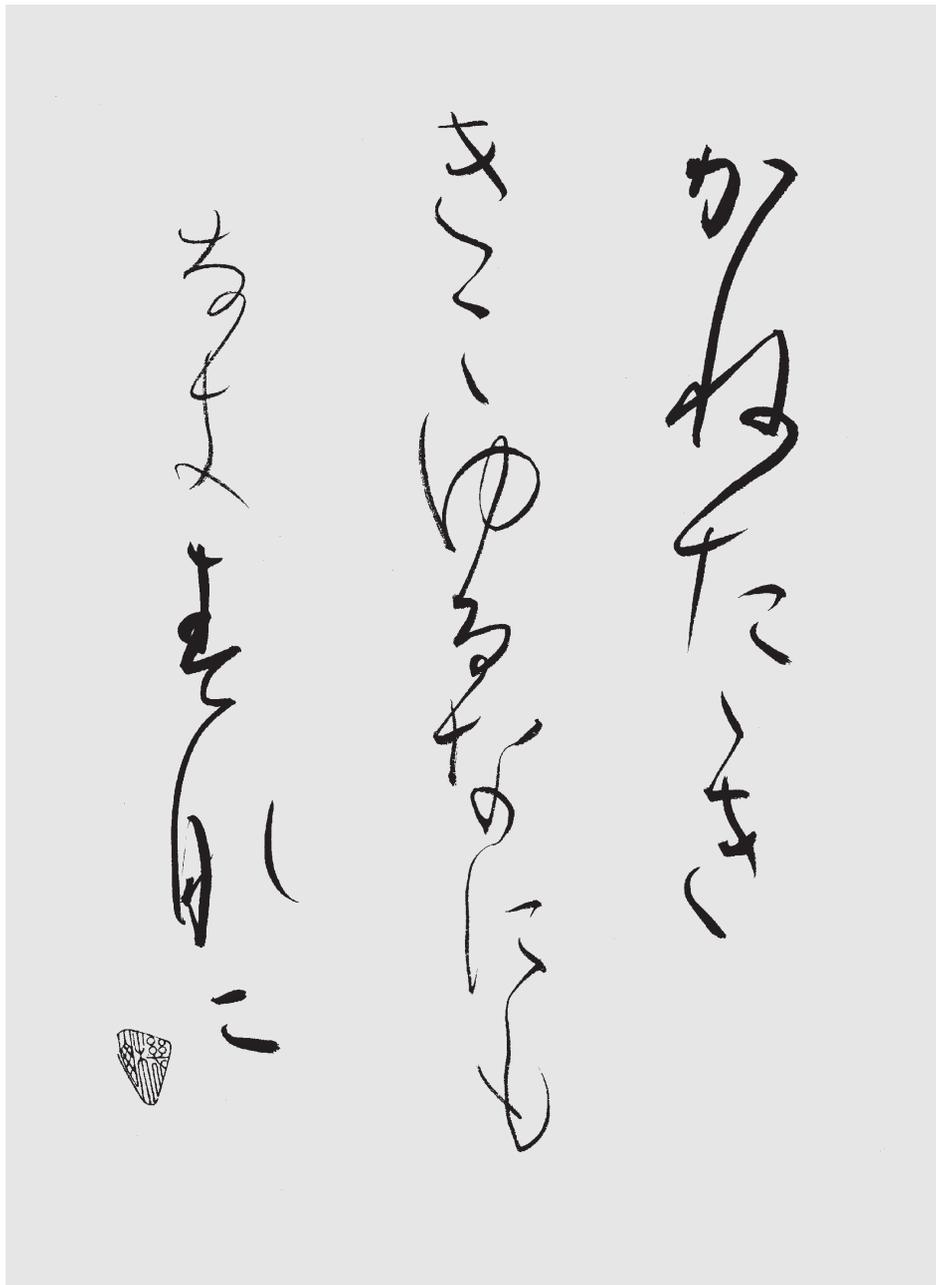
◆10月課題予告

※文献によって字体が異なる場合があります。



新入から1級まで

浅井機山先生書



かねた、
 鉦叩ききこゆる何もなき砂に

星野立子

〔句意〕

草も木もない砂上に鉦叩きの声が聞こえる。単調な虫の音に、砂丘の空虚さがとらえられた句。

〔古筆参考〕

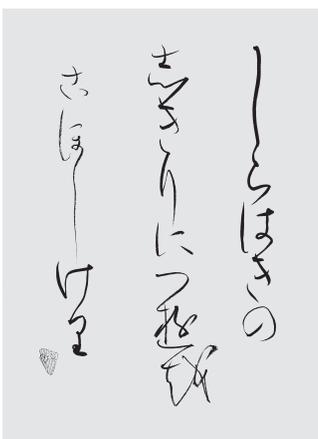
奈なふふあ

支きあまよきまよ

春すまきまき

那なねねねら

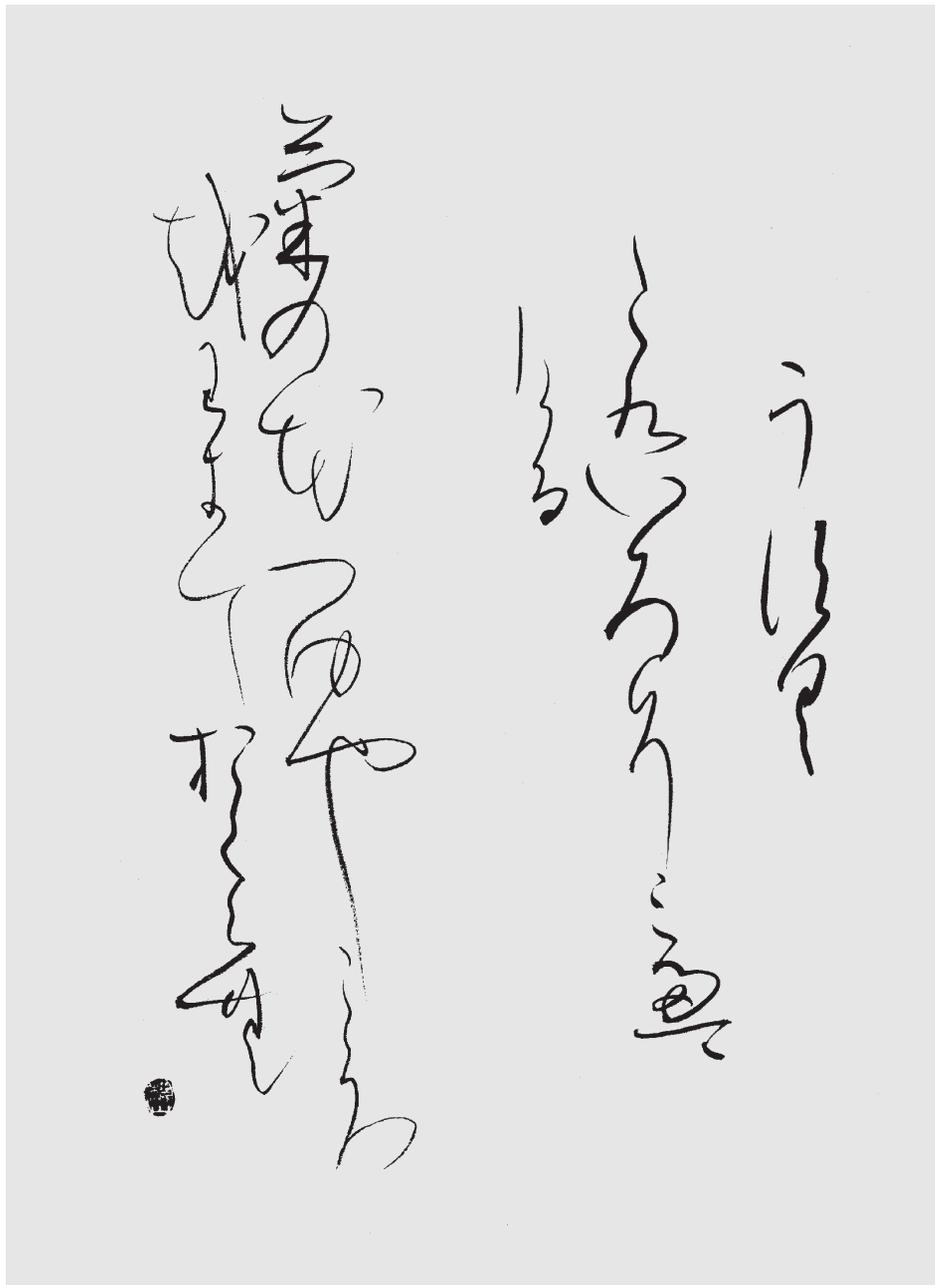
◆10月課題予告



白萩のしきりに露をこぼしけり

準初段から師範まで

浅井機山先生書



薄くこくいろぞ見えける菊の花

露や心をわきて置くらむ

清原元輔

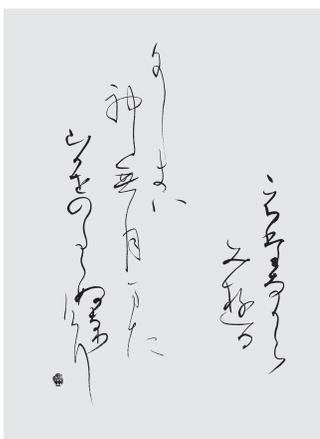
〔歌意〕

あるところは濃く、あるところはうすく菊の花の咲いているのが見える。露が心に區別をつけて花に置くので、そうなるのだからか。

〔古筆参考〕

須⁺ 頃 頃 頃 頃
具^く じり じり じり じり
曾^そ そ ぞ ぞ ぞ
介^け け け け け
於^お 於 於 於 於
無^む 無 無 無 無

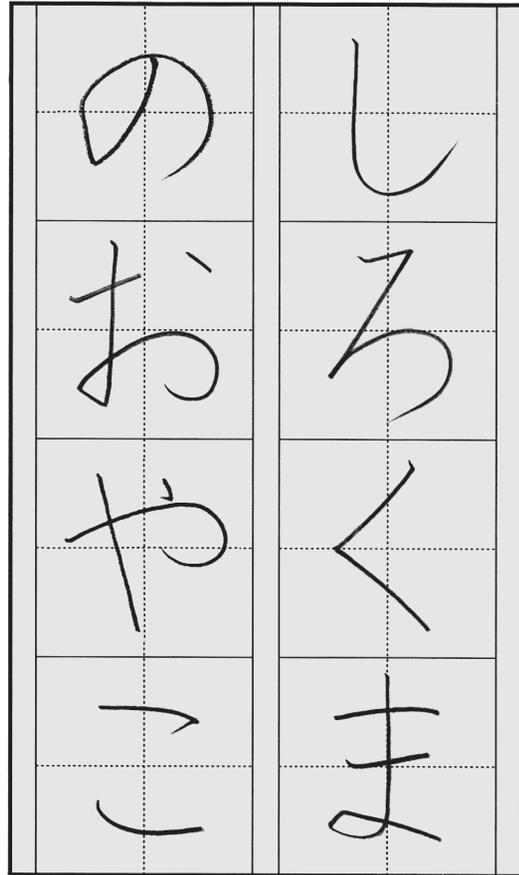
◆10月課題予告



枝ながら見ゆるにしきは神無月

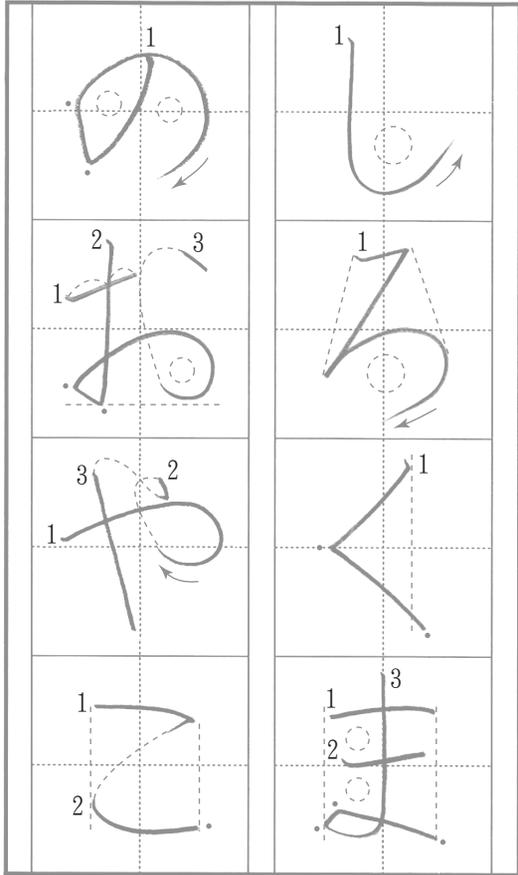
まだ山風のたたぬなりけり

よ
う
年



★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかき)

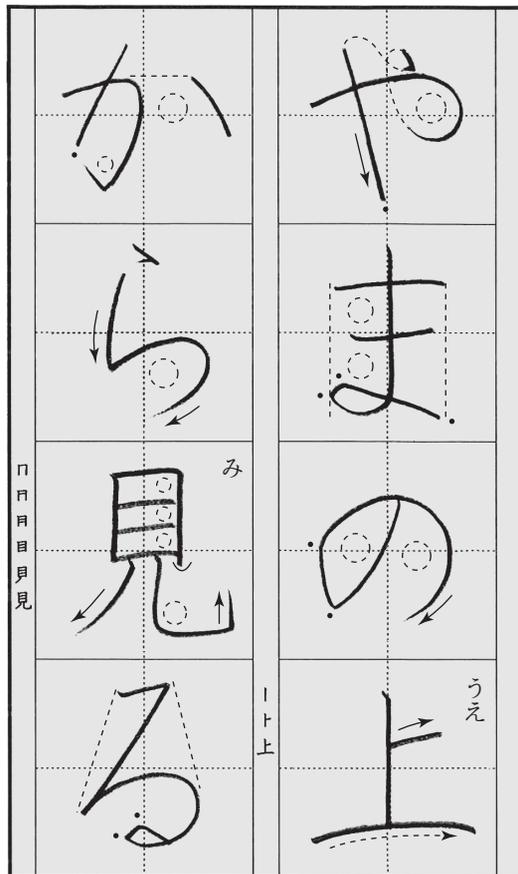
小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準初段以上

新入〜1級



幼年〜小三年まで
三宅容玉書

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

一 丁 下	下 <small>した</small>	ノ
	に	丨
ノ ク ク 名 名	名 <small>な</small>	ト
ノ ナ 前 前	前 <small>まえ</small>	右 <small>みぎ</small>

新入〜1級

自	下	ノ
分	に	丨
の	大	ト
名	き	の
前	く	右

準初段以上

小二年

準初段以上

	ち	虫 <small>むし</small>
ノ 川 川	川 <small>かわ</small>	か
山 山 岸 岸	岸 <small>ぎし</small>	ご
	へ	持 <small>も</small>

新入〜1級

へ	近	虫
行	く	か
き	の	ご
ま	川	持
す	岸	ち

準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具 自由 (黒色に限る)〉

湯	と
の	う
み	芸
を	て

新入1級

の	の	と
み	置	う
を	物	芸
作	や	て
る	湯	犬

小四年

準初段以上

小四年以上
前 岨 玉 華 書

別	防
賞	犯
入	絵
	特

解説 (よく見て習いましょう)

別	マ	防
賞	の	犯
に	絵	を
入	が	テ
る	特	ー

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

〈用具 自由 (黒色に限る)〉

い(り)	フカ	カ	リキ
お(さ)か	一十士	士	シ
お(な)つ	一十士	士	ド
	一十士	俵	ヒヨウ

解説(よく見て習いましょう)

に	入	カ
行	り	士
わ	が	の
れ	嚴	士
た	か	俵

小六年

(全頁)

確	難	建
か	経	物
め	路	内
ま	図	の
す	を	避

中二・三年

(行書)

ぶ	特	全
お	産	国
店	品	各
で	が	地
す	並	の

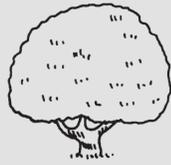
中一年

(行書)

▼小三年以下の課題 いし かわ か すい 翠 書
石 川 加 翠 書

風 <small>かせ</small>	い	小 <small>ちい</small>	オ	庭 <small>にわ</small>	
が	い	さ	レ	の	
運 <small>はこ</small>	か	い	ン	金 <small>きん</small>	
ん	お	花 <small>はな</small>	ジ	木 <small>もく</small>	
で	り	を	色 <small>いろ</small>	せ	
く	を	つ	の	い	
る		け		が	

◎お手本はえんぴつ使用



- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
 - 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
 - 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
 - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
 - 一、成績は評価により毎月変わります。
 - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



しめきり 9月22日（必着）

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 さ とう ほう せん 書
佐 藤 芳 泉 書

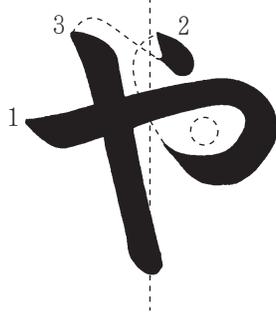
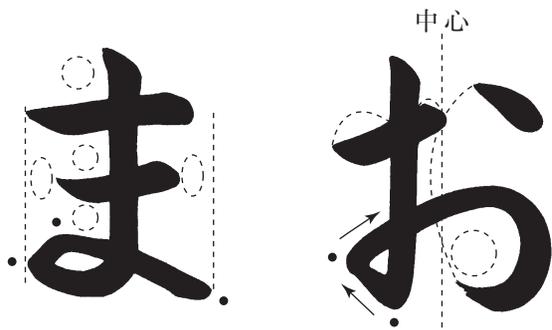
家 <small>か</small>	備 <small>び</small>	話 <small>はな</small>	災 <small>さい</small>	防 <small>ぼう</small>	
族 <small>ぞく</small>	蓄 <small>ちく</small>	し	害 <small>がい</small>	災 <small>さい</small>	
で	品 <small>ひん</small>	合 <small>あ</small>	に	週 <small>しゅう</small>	
行 <small>おこな</small>	の	い	備 <small>そな</small>	間 <small>かん</small>	
う	見 <small>み</small>	や	える	に	
	直 <small>なお</small>		る		
	し		為 <small>ため</small>		
	を		の		

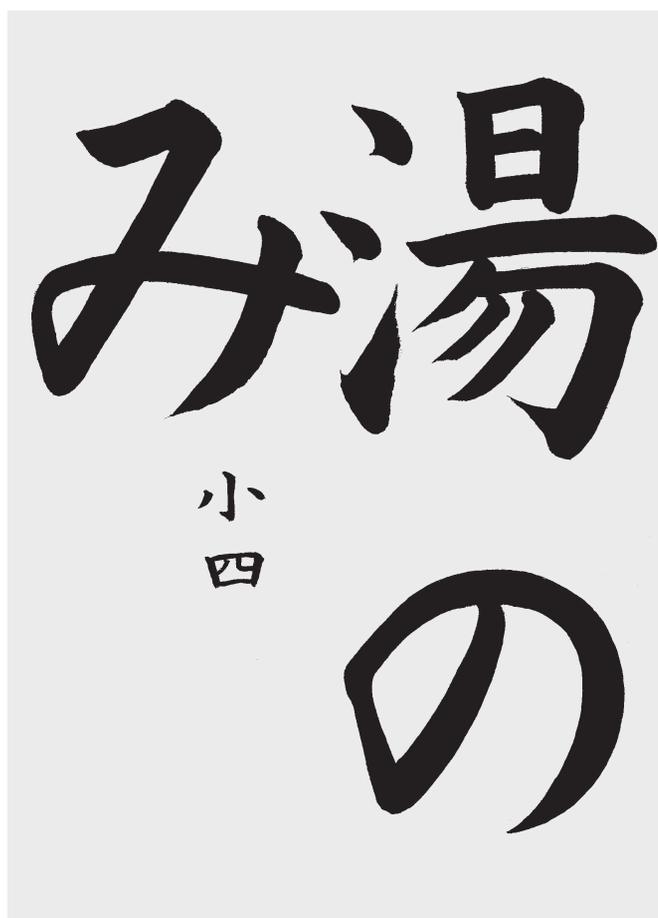
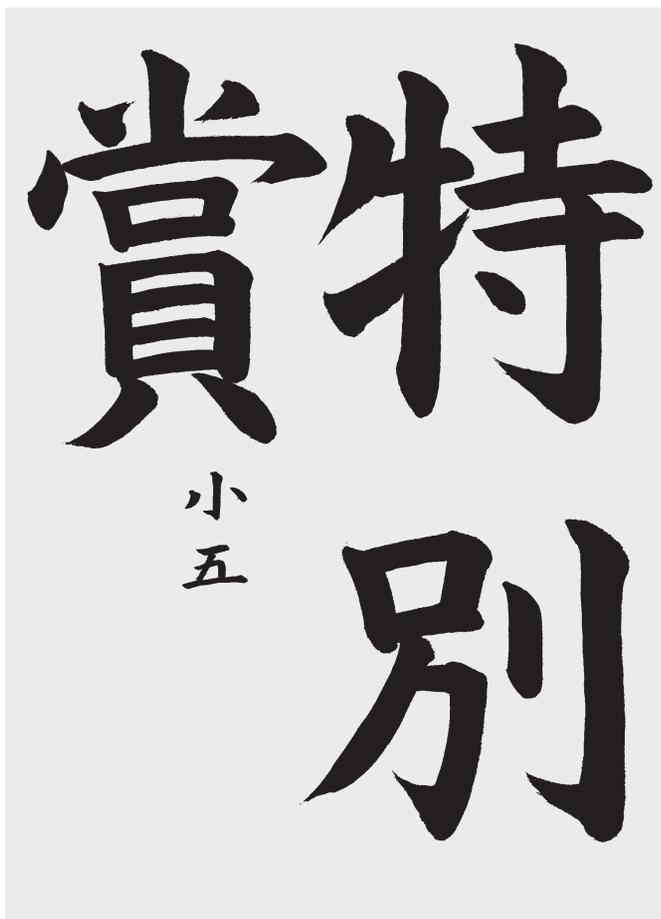
◎お手本はつけペン使用





幼年〜小二年
酒井智仔書





小三〜小五年

水野碧友書

中二・三

経 避

路 難

小六〜中二・三年

永谷恵子書

小六

入 土

り 俵

地

俵

避

入

難

各

中一

各 全

地 園

※行書はリズムよく筆を運ぶことが大切です。